



「下妻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

総合戦略〔対象期間:平成27(2015)～31(2019)年度の5年間〕

4つの基本目標

政策1 《地域づくり》

市民が誇りと愛着を持って健康に暮らせるまちづくりを目指します

数値目標	現況値	目標値 (平成31年度)
下妻市に愛着をもっているか (アンケート調査)	41.8% (平成27年実施)	50.0%
健康寿命	男性 70.63歳 (平成22年度)	71歳
	女性 74.69歳 (平成22年度)	75歳
一人あたりの普通建設事業費	約54,000円/人 (平成25年度)	約54,000円/人以下

政策2 《人の流れ》

地域の魅力発信と新たな人の流れの受け皿づくりを目指します

数値目標	現況値	目標値 (平成31年度)
定住意向 (アンケート調査)	57.5% (平成27年実施)	60.0%
住みよさランキング	113位/791市区 (平成27年)	100位以内

政策3 《希望を叶える》

結婚・出産・子育ての希望の実現、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指します

数値目標	現況値	目標値 (平成31年度)
合計特殊出生率	1.49 (平成20～24年ベイズ推定値)	1.64

政策4 《雇用の創出》

安定した雇用の創出と市内就業人口の増加を目指します

数値目標	現況値	目標値 (平成31年度)
就業者率 (15歳以上就業者数/15歳以上総数)	58.8% (平成22年度)	60.0%
市内総生産額	1,825億円 (平成24年度)	2,800億円
認定農業者数	287人 (平成26年度)	325人
農業法人数	14法人 (平成26年度)	30法人

市では、地方創生に向けた取り組みとして、人口問題の現状と将来の展望を提示した「下妻市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と、これからの5年間の施策目標を掲げた「下妻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
※詳細は、市ホームページに掲載しています。

問い合わせ
企画課 ☎43-2113

「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定にあたっては、各分野から幅広い意見を反映させるため、「下妻市まち・ひと・しごと創生有識者会議」を設置し、約3千人の市民を対象としたアンケート調査などを実施しました。
下妻市における「人口ビジョン」では、今後の人口減少に歯止めをかけるために、若い世代の希望が実現する環境整備を推進することや、将来にわたって市民が健康を保持しつつ、安心して暮らすことができる地域環境を維持していく取り組みが必要であるとされました。
さらに、「総合戦略」では4つの基本目標を掲げ、雇用の創出や定住促進、子育て支援などに関する幅広い分野において、特色ある施策を盛り込みました。

人口ビジョン〔対象期間:平成72(2060)年まで〕

人口の現状分析

■本市の人口動向

2000年(平成12年)の46,544人をピークに減少に転じており、平成28年4月1日現在、43,011人となっています。

人口の将来展望

■合計特殊出生率の回復

現在の下妻市の合計特殊出生率は1.49で、茨城県、全国にくらべて高いものの、減少が続いています。これを2030年には1.80程度まで上昇させさせることを目指します。

■転出の抑制

雇用の創出により、20～39歳の若い世代の転出者を約25%程度抑制することを目指します。

**平成52(2040)年の人口36,500人以上、
平成72(2060)年の人口31,700人以上を目指します**

